様式 調-査-01(2026.4 改訂)

価 格 査 定 書

査定書番号 **査-2026-00005**
作成日 2026/11/29
調達部 購買グループ

部長	グループリーダー	担当
石井 11/29	森 11/29	中村 11/29

1. 件名・発注先

件名	第二工場 冷却水設備(チラー・冷却塔)更新工事			案件番号	PR-2026-00001
要求部門	生産技術部 設備課	納入・施工場所	第二工場	希望納期	2027/05/03
発注予定先	朝霧プラント工業株式会社			見積番号	AP26-1142
見積受領日	2026/11/19	見積有効期限	2026/12/18	予算	￥82,000,000

2. 査定結果

見積金額(税抜)	査定金額	決定金額	低減額	低減率	判定
￥73,100,800	**￥70,107,000** 見積比 −￥2,993,800	**￥71,200,000**	**￥1,900,800**	**2.6%**	**要交渉**

3. 比較見積・前回実績

比較見積 ①	かわせみ設備工業株式会社	￥73,394,400	比較見積 ②	東雲冷熱エンジニアリング株式会社	￥75,429,100
前回・類似実績	本社工場 冷却水設備更新工事(2022/10/14・朝霧プラント工業株式会社)決定額 49,600,000円、当初見積比 −6.1%。配管工単価を設計労務単価+8%まで査定し諸経費率を16.1%へ圧縮、夏季休暇4日で手戻りなく完了。				
発注先選定理由	相見積3社の中で73,100,800円と最安値を提示している。 本社工場での冷却水設備更新工事をはじめ、類似の冷却水・配管工事の実績が豊富である。 過去の本社工場更新時にも4日間の連休切替を手戻りなく完工させており、工程遵守の面で信頼性が高い。				

4. 査定内訳

No	費目	名称・仕様	数量	単位	見積単価	見積金額	査定単価	査定金額	乖離率	判定	査定根拠・所見
1	機器費	空冷ヒートポンプチラー 120kW / インバータ式	3	台	￥6,750,000	￥20,250,000	￥6,520,000	￥19,560,000	3.5%	妥当	本社工場 冷却水設備更新(2022年)の決定単価×市況指数
2	機器費	密閉式冷却塔 150冷却トン / 低騒音形	2	台	￥4,720,000	￥9,440,000	￥4,540,000	￥9,080,000	4.0%	妥当	成形センター 冷却塔更新(2020年)の決定単価×市況指数
3	機器費	冷却水ポンプ 100A 22kW / メカニカルシール	4	台	￥1,230,000	￥4,920,000	￥1,170,000	￥4,680,000	5.1%	要交渉	冷却水ポンプ更新(2024年)の決定単価×市況指数 ▶ 査定単価1,170,000円に対し+5.1%。同額への見直しを求める。

No	費目	名称・仕様	数量	単位	見積単価	見積金額	査定単価	査定金額	乖離率	判定	査定根拠・所見
4	機器費	インバータ 22kW / 400V級 汎用	4	台	￥348,000	￥1,392,000	￥334,000	￥1,336,000	4.2%	妥当	社内実績(2025年度)
5	機器費	冷却水設備 制御盤 / 台数制御・警報 屋外自立形	1	面	￥2,610,000	￥2,610,000	￥2,520,000	￥2,520,000	3.6%	妥当	本社工場 冷却水設備更新(2022年)の決定単価×市況指数
6	材料費	配管 SUS304 100A / Sch10S TIG溶接 支持金物共	260	m	￥27,800	￥7,228,000	￥25,700	￥6,682,000	8.2%	要交渉	社内実績(2025年度) ▶ 査定単価25,700円に対し+8.2%。25,700円への見直しを求める。
7	材料費	配管 SGP 80A / ねじ込み 支持金物共	140	m	￥12,600	￥1,764,000	￥12,100	￥1,694,000	4.1%	妥当	社内実績(2025年度)
8	材料費	保温工事 100A / グラスウール25t ラッキング	260	m	￥7,250	￥1,885,000	￥6,850	￥1,781,000	5.8%	要交渉	社内実績(2025年度) ▶ 査定単価6,850円に対し+5.8%。6,850円への見直しを求める。
9	材料費	雑材消耗品	1	式	￥680,000	￥680,000	—	￥680,000	—	—	—
10	労務費	配管工 / 休日作業含む	110	人日	￥29,900	￥3,289,000	￥25,700	￥2,827,000	16.3%	過大	公表の設計労務単価+社内補正8% ▶ 査定単価25,700円に対し+16.3%。25,700円への見直しを求める。
11	労務費	機械設備工 / 据付・芯出し	36	人日	￥26,800	￥964,800	￥24,900	￥896,400	7.6%	要交渉	公表の設計労務単価+社内補正8% ▶ 査定単価24,900円に対し+7.6%。24,900円への見直しを求める。
12	労務費	電工 / 動力配線・盤結線	22	人日	￥27,000	￥594,000	￥25,800	￥567,600	4.7%	妥当	公表の設計労務単価+社内補正8%
13	労務費	現場代理人 / 常駐	45	人日	￥46,000	￥2,070,000	￥43,000	￥1,935,000	7.0%	要交渉	社内実績(2022〜2025年度 冷却水更新3件の平均) ▶ 査定単価43,000円に対し+7.0%。43,000円への見直しを求める。
14	仮設・撤去費	既設撤去・搬出 / 重機・運搬共	1	式	￥2,180,000	￥2,180,000	—	￥2,180,000	—	—	—
15	仮設・撤去費	産廃処分 / フロン回収・破壊証明共	1	式	￥860,000	￥860,000	—	￥860,000	—	—	—
16	仮設・撤去費	仮設チラー 120kW / 接続配管別途	10	日	￥61,000	￥610,000	￥56,000	￥560,000	8.9%	要交渉	レンタル3社の標準価格の平均 ▶ 査定単価56,000円に対し+8.9%。56,000円への見直しを求める。
17	仮設・撤去費	ラフタークレーン 25t / オペレータ付	2	日	￥112,000	￥224,000	￥104,000	￥208,000	7.7%	要交渉	社内実績(2025年度) ▶ 査定単価104,000円に対し+7.7%。104,000円への見直しを求める。
18	試験調整費	試運転・流量調整 / 性能確認共	1	式	￥990,000	￥990,000	￥910,000	￥910,000	8.8%	要交渉	本社工場 冷却水設備更新(2022年)の決定額×市況指数 ▶ 査定単価910,000円に対し+8.8%。910,000円への見直しを求める。
19	諸経費	現場管理費	1	式	￥4,950,000	￥4,950,000	—	￥4,950,000	—	—	— ▶ 諸経費率18.8%は社内目安上限17%を超過しており、17%への圧縮を求める。

No	費目	名称・仕様	数量	単位	見積単価	見積金額	査定単価	査定金額	乖離率	判定	査定根拠・所見
20	諸経費	一般管理費	1	式	￥6,700,000	￥6,700,000	—	￥6,700,000	—	—	— ▶ 諸経費率18.8%は社内目安上限17%を超過しており、17%への圧縮を求める。
21	値引	出精値引き	1	式	￥-500,000	￥-500,000	—	￥-500,000	—	—	—
					合計	**￥73,100,800**		**￥70,107,000**			

※ 査定単価の無い行(一式計上・諸経費・値引)は見積金額をそのまま査定金額としている。諸経費は「5. 査定所見」で率を評価する。

5. 査定所見・交渉経緯

査定所見	【結論】 朝霧プラント工業株式会社の見積金額73,100,800円に対し、査定金額は70,107,000円(査定差額2,993,800円)である。 配管工労務単価が「過大」と判定され、諸経費率も社内基準を超過しているため、判定は「要交渉」とする。 【単価】 ・配管工 休日作業含む: 見積単価 29,900円、査定単価 25,700円、乖離率 16.3%、査定根拠: 公表の設計労務単価+社内補正8% ・仮設チラー 120kW 接続配管別途: 見積単価 61,000円、査定単価 56,000円、乖離率 8.9%、査定根拠: レンタル3社の標準価格の平均 ・試運転・流量調整 性能確認共: 見積単価 990,000円、査定単価 910,000円、乖離率 8.8%、査定根拠: 本社工場 冷却水設備更新(2022年)の決定額×市況指数 ・配管 SUS304 100A Sch10S TIG溶接 支持金物共: 見積単価 27,800円、査定単価 25,700円、乖離率 8.2%、査定根拠: 社内実績(2025年度) 【数量・人工】 配管工事における配管工人工は、SUS配管260mおよびSGP配管140mの計400mに対し110人日計上されている。 計算式: 110人日 ÷ (400m ÷ 10m) = 2.75人日/10m 社内目安(配管10mあたり3.5〜4人日)の範囲内に収まっており妥当である。 なお、仮設チラーの日数(10日)は切替期間4日に対して多いため、目安である切替日数+2日(6日)程度への精査を求める。 【諸経費】 直接工事費合計61,950,800円に対し、諸経費は現場管理費4,950,000円、一般管理費6,700,000円の計11,650,000円である。 計算式: 11,650,000円 ÷ 61,950,800円 × 100 ≒ 18.8% 社内目安の13〜17%(現場管理費5〜7%、一般管理費8〜10%)の上限および交渉基準18%を超過しており、前回実績(本社工場更新 決定16.1%)と比較しても高い。 【交渉方針】 「過大」判定となった配管工単価を設計労務単価+8%の25,700円まで是正させ、乖離の大きい仮設チラーやSUS配管材等と合わせて査定金額70,107,000円への減額を求める。 さらに諸経費率を目安上限の17%(10,531,636円)まで引き下げさせ、差額1,118,364円を圧縮した68,988,000円を目標額として交渉を行う。
交渉経緯	11/24 査定結果を提示。配管工の単価 25,700円への見直しと、諸経費率の是正を要請。 11/26 再見積を受領。配管工 26,900円、一般管理費 610万円で回答。 11/27 決定金額 71,200,000円で合意。

本書は購買査定台帳(さざなみ精工 調達部)から出力。決定金額 200万円以上はグループリーダー承認、5,000万円以上は部長決裁を要する。

出力 2026/11/29 09:39 中村 颯太